

## 12月～3月の活動報告（令和3年3月31日）

12/19,20 バドミントン強化講習会に参加しました。

日本代表チームのコーチ指導の下、中学・高校生対象の強化練習が行われました（12/19シングルス、12/20ダブルス）。本校からは女子4名が参加、市原市にある東日本で唯一のバドミントン専用体育館にて、普段の練習でも活用できる練習を学び、同時にレベルの高い指導を受けることができました。また、公立高校は本校のみでしたが、昭和学院や敬愛学園など県上位の私立高校との交流も、選手たちにとって刺激になりました。



## 3/28 新潟遠征

春季合宿が中止となったため、代替として新潟湯沢で行われた強化交流会に参加しました。感染症対策のため、人数は少人数で宿泊は行わず、日帰りで1日目のみの参加としました。開催に際しては参加チーム数を絞った上で、健康チェックシートの提出や、消毒・換気の徹底など、感染症対策が施されていました。試合はリーグ戦形式で2複1単の団体戦を行い、最後には大会アンバサダーでもある日本代表の坂井一将選手との交流も行われました。

### 主な試合結果

#### 男子

##### リーグ戦

- △1-1 市立長野（長野）
- 0-3 日本文理（新潟）
- 3-0 県立前橋（群馬）
- 0-1 市立長野とのD2再試合

##### 交流試合（1ゲームマッチ）

- 2-1 加藤学園（静岡）

#### 女子

##### リーグ戦

- 0-3 日本文理（新潟）
- 1-2 聖和学園B（宮城）
- 2-1 高崎商大附（群馬）
- 0-3 富山商業（富山）

他県の体育館で他県の上位校との試合は独特の空気と緊張感がありますが、男子は遠征経験の多い2年生を中心に落ち着いた試合を展開し、県ベスト8のチームとは互角以上の試合ができました。女子は初めての遠征試合で、いつもと違う雰囲気。序盤は浮足立った試合もあり苦しい展開が多かったですが、中盤県ベスト8のチームに対してD1S1で試合を決めるなど練習の成果が出た試合もありました。男女ともに4月の関東大会予選や5月6月の県総体へむけて、非常に良い経験を積むことができました。良かった部分は自信に

つなげ、反省点は本番までの練習課題とし、県ベスト8以上と関東大会出場を目標に練習に励んでいきます。また、遠征メンバー以外も春休み中に1週間かけて春季合宿の一部メニューを全員が乗り越えました。来年度も市立千葉の誇りを胸に部員一丸となって大会に臨んでいきます！



感染症対策を施しながら、貴重な大会となりました。1日のみの参加でしたが、収穫の多い1日となりました。



千葉県ではあまり見られない雪と山。雪に風が当たって感じる独特の空気と匂いを感じながら試合に臨みました。



新しい生活の中で、失ったものを取り戻すため、多くの企業ができることを模索し、協力し合い、努力しているのを感じました。3年生にとって最後の大会を無事迎えられるよう、しっかりと感染症対策に取り組んでいきたいです。

9月～11月の活動報告（令和2年11月19日）

男子

令和2年度新人大会地区予選

団体戦 2位  
シングルス 6位 安藤

男子団体戦では11年ぶりの新人大会地区2位となりました。個人でもシングルスで出場するのは10年以上ぶりです。相変わらず敬愛学園の壁が厚いですが、ダブルスではあと一歩でゲームが取れるところでの敗戦、シングルスでは高橋が敬愛学園3番手からゲームを先取し、ファイナルゲームはゲームポイントを取りながら負けてしまったので、夏と比べても接近していることは確実です。来春には勝てるよう努力を続けていきます。また、団体戦において1年生の成長もあり、地区の他のチームをリードする形はできました。関東大会の地区予選では確実に地区1位を取れるよう目標をもって練習していきます。

令和2年度新人大会

団体戦 組み合わせにより2回戦から  
2回戦 ●0-3 中央学院 初戦敗退

シングルス 安藤 2回戦敗退

団体戦は今回4シード以外の地区1位の中で、最強と言われる中央学院が初戦の相手となりました。第1シングルスで安藤が26点まで粘るなど、良い場面は見せましたが、そこまででした。個人シングルスでは安藤が第3地区の1位の選手に、1ゲーム目を彼らしくないプレーで取られるも中盤から取り戻し2-1の勝利で2回戦へ。2回戦は中央学院3番手の選手との試合で、乗り切れない部分もありながら接戦となりました。1ゲーム目を落とした2ゲーム目では終盤に流れをつかみ20-18とリードしながら、最後の1点をとれず0-2の敗戦。新人大会全体を通し、強豪相手にも接戦に持ち込めるだけの成長は見せられたと思います。しかし、最後の1点を取りきる力は上位チームとの差を感じます。これが次の課題です。来春にはより成長した姿を見せられるよう頑張ります。

女子

令和2年度新人大会地区予選

団体戦 2位  
ダブルス 3位 齊藤・園田  
6位 小松・木村朱  
シングルス 5位 園田  
6位 齊藤

女子団体戦では6年ぶりの新人大会地区2位となりました。また男女ともに2位以上となるのは10年以上ぶりとなります。敬愛学園が個人戦で上位を占める本地区では県大会出場の難易度が非常に高いのですが、女子は全種目で県大会出場となり、運も味方につけ、試合でも実力を発揮できました。団体戦でも練習の状態を試合に出すことができ、落ち着

いた試合運びで着実に決勝へ進みました。決勝の敬愛学園戦でも1年生の園田・木村朱のダブルスが惜しいゲームを展開し、次年度へむけ希望の持てる試合ができました。個人ダブルスでは齊藤・園田が敬愛学園の3番手ダブルスを2-0で破り3位となりました。チームとしても地区としても非常に大きな役割を果たしました。終盤のラリーでは緊張を跳ね除け、落ち着いてコースを狙って行き、相手のペースを作らせない非常に良い形ができていました。

#### 令和2年度新人大会

団体戦 組み合わせにより2回戦から  
2回戦 ○3-2 国 分  
3回戦 ●0-3 西武台千葉  
3回戦敗退（ベスト16）

ダブルス 小松・木村朱 1回戦敗退  
齊藤・園田 3回戦敗退（ベスト16）  
シングルス 園田 1回戦敗退  
齊藤 1回戦敗退

団体戦は初回戦から昨年度1年生中心にベスト8だった国分高校。夏の成田遠征では引き分けただけに、非常に良いチームとの初戦となりました。ダブルスで1-1となり、勝負の第1シングルスとなりました。今年1番の成長株として送り出した1年生の北見が緊張の場面でも力を発揮し、途中から完全に相手を圧倒しました。最後は21-3で完全に抑え、チームの流れを渡さない状態を作ることができました。第2シングルの齊藤は夏の遠征の際26-28で敗れた学年別大会ベスト8の選手との再戦。夏よりも粘り強さとスタミナが増し、今回は28-26でゲームを先取しましたが、2、3ゲーム目で接戦の終盤にミスが重なり、1-2で敗戦。成長を見せるも一歩及びませんでした。第3シングルスは相手の2番手とこちらの1番手の為、落ち着いた試合運びで2-0の勝利となり、チームも3-2の勝利。5年ぶりに女子新人大会ベスト16入りとなりました。その後、西武台千葉との試合では、千葉県トップの力を同じコートで試合をすることで感じる事ができました。0-3の敗戦も非常に勉強になった試合となりました。

個人戦ダブルスでは齊藤・園田がベスト16まで進むも、ベスト8を懸けた千葉聖心との試合で、勝っている展開から終盤に逆転される、悔しい試合となりました。シングルスでも練習試合では勝利している相手に2ゲームとも20-22で敗れるなど、団体戦と比べると力を発揮しきれない部分が見えました。

チーム全体として終盤負けていても追いつく力はあるのですが、そのあとの接戦の終盤での展開や、緊張の場面でショットの選択や視野が狭くなっているのは男女ともに課題です。このようなゲームを制する力を付け、あと一つ上のステージで戦えるよう練習をしていきます。

保護者の皆様には昨今の状況により、無観客での大会開催で直接応援していただく場面も少なくなり大変申し訳ないところではございますが、日々の活動への御支援・御協力大変感謝しております。選手たちは日々目標を持って努力し、この半年でも成長を感じております。来春に向け再出発となります。引き続き応援の程よろしく申し上げます。

## 6月～8月の活動報告（令和2年9月1日）

今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大のため、多くの大会が中止となりました。そこで本校では3年生の練習も6月から再開し、7月18日、24日には本校体育館にてほとんどの3年生にとって最後の大会となる校内大会を開催させていただきました。大会開催・運営に際し、保護者の皆様の応援ならびに多大なる御協力をいただき、御陰様で大会は数々の感動を残しながら、無事終えることができました。保護者の皆様には心から感謝申し上げます。

### 令和2年度市立千葉高校生バドミントン選手権大会 （7月18日 ダブルス、24日 シングルス）

男子 ダブルス 優勝 安藤・高橋  
準優勝 上野・佐藤  
第3位 西條・塚田  
第4位 荒井・川端  
シングルス 優勝 上野  
準優勝 安藤  
第3位 高橋  
第4位 川端

女子 ダブルス 優勝 今井・小松  
準優勝 安井・齊藤  
第3位 吉田・園田  
第4位 佐上・木村朱  
シングルス 優勝 園田  
準優勝 今井  
第3位 齊藤  
第4位 高橋



### 令和2年度千葉県高等学校3年生バドミントンダブルス代替大会

男子 上野・佐藤 ベスト32  
荒井・川端 1回戦敗退  
女子 今井・安井 ベスト32

男女ともに3年生は最後まで頑張りました。これまでの部活動で培った粘り強さと、諦めない心を受験に生かしましょう！

#### 8/9 成田遠征

今年は県外遠征を中止とし、県内での遠征試合を行いました。

県内6校で新人戦形式の2複3単の団体戦と個人戦を行いました。結果は

男子 5勝0敗 女子 4勝1分

で、男女ともに最高成績で終わることができ、夏季大会・新人大会へ向け順調な滑り出しとなりました。今年は様々な制限があり、なかなか団体戦を行うことができないなかでの実施となりましたので、新チームとして非常に良い経験ができました。準備・企画に携わっていただいた先生方ありがとうございました。



夏季大会（団体戦は行わず、個人戦の結果にポイントが付与し、その合計点で順位を決定）

男子	ダブルス	第3位	西條・塚田	（4ポイント）
	シングルス	第3位	安藤	（6ポイント）
		第5位	高橋	（2ポイント）
	団体順位	第2位	合計	12ポイント

女子	ダブルス	第3位	齊藤・園田	（4ポイント）
	シングルス	第5位	齊藤	（2ポイント）
	団体順位	第3位	合計	6ポイント

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で対策を講じての大会実施となったため、エントリー数が半分に、応援生徒も不在、団体戦も中止となりました。そのためいつもとは違う静かな戦いとなり、ペースも乱れる試合もありましたが、男子は目標通り、女子も最低限のラインを確保し、夏休みを終えることとなりました。次はいよいよ本番、男女ともに新人大会での県ベスト8以上を確保できるよう練習に励んでいきたいと思えます。

